

令和5年度 新規
令和7年度 第1回計画変更

土地改良事業計画書

(農地中間管理機構関連農地整備事業 大力谷地区)

事業主体 広島県

施工場所 広島県三次市三和町

第1章 目 的	1
第2章 地域及び地積	1
第1節 地 域	1
第2節 地 積	1
第3章 現 況	2
第1節 気象及び海象	2
1 一般気象	2
2 特殊気象	2
3 海 象	3
第2節 土地状況	3
1 地形、土壌及び侵食の程度	3
2 土地分類	4
3 土地利用の状況	4
4 土地所有の状況	5
第3節 水利状況	5
1 用水状況	5
2 排水状況	8
3 河川状況	10
第4節 道路概況	10
1 道路概況	10
2 主要道路一覧表	11
第5節 地域農業の概況	11
1 産業別就業人口	11
2 経営耕地広狭別農業経営体数	11
3 主要家畜頭数	12
4 主要作物作付状況	13
5 農業の動向	13
第6節 地域環境の概要	14

第4章 一般計画	15
第1節 事業計画の要旨	15
1 要 旨	15
2 事業別面積	15
第2節 営農計画及び土地利用計画	15
1 営農計画の概要	15
2 土地利用区分	15
3 作付方式	16
4 生産計画	17
5 労働改善計画	18
6 級地別土地利用区分	19
7 土地配分計画	19
第3節 用水計画	20
1 計画基準年	20
2 計画かんがい方式	20
3 計画用水系統	20
4 計画用水量	20
5 水源計画	21
第4節 排水計画	23
1 計画基準雨量	23
2 計画排水方式	23
3 計画排水系統	23
4 計画排水量	23
5 排水対策	23
6 たん水検討	24
第5節 道路計画	25
1 道路及び索道	25
2 路線配置図	25
第6節 農用地造成計画	25
1 農用地造成計画	25
2 土壌改良	25

第7節	洪水調節計画	26	第4節	農用地造成	32
1	計画基準雨量	26	1	農用地造成	32
2	計画洪水量及び調節量	26	2	土壌改良	34
3	貯水池	26	第5節	洪水調節施設	34
4	洪水調節検討	26	1	貯水池	34
5	管理計画	26	2	頭首工及び導水施設	34
第8節	干拓計画	26	第6節	干拓施設	34
第9節	農用地整備計画	27	1	堤防	34
1	区画整理	27	2	潮止め	35
2	暗渠排水	27	3	付属施設	35
3	客土	28	4	埋立	35
4	農地保全	28	第7節	農用地整備施設	35
第10節	老朽ため池改修計画	29	1	区画整理	35
1	洪水吐改修計画	29	2	暗渠排水	36
2	堤体補強計画	29	3	客土	36
3	取水施設改修計画	29	4	除礫	36
			5	農地保全	37
第5章	主要工事計画	30	第8節	老朽ため池改修施設	37
第1節	用水施設	30	1	貯水池	37
1	貯水池	30	2	堤体補強施設	37
2	頭首工	30	第6章	附帯工事計画	38
3	揚水機	30	第7章	工事の着手及び完了の予定時期	38
4	用水路	30	第8章	環境との調和への配慮	38
第2節	排水施設	31	第9章	換地計画の概要	38
1	排水水門	31	第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	38
2	排水機	31	第2節	換地区の設定	38
3	排水路	31	1	換地区の名称、所在、面積	38
4	その他	31	2	換地区を設定する理由	38
第3節	道路及び索道	32			
1	道路	32			
2	索道	32			

第3節	換地区計画樹立の基本方針	38
1	従前の土地の地積の基準	38
2	用途別予定地積	39
3	農用地集団化の方針	40
4	非農用地の換地方法	40
第4節	土地の評価及び清算の方法	40
1	評価の方法	40
2	清算の方法	40
第5節	換地計画樹立の年度計画	40
第6節	換地処分の時期に関する特則	40
第10章	事業費の総額及び内訳	41
第11章	効用	41
第12章	関係する事業	41
第13章	現況・計画図面	41
1	現形図	
2	計画平面図及び土地利用計画図	
3	主要構造図	

第1章 目 的

(19.3)

本計画区域(A=19.7ha)は、三次市南西部(三和町)の大力谷川沿いに広がる水田地帯に位置し、水稻を中心とし、酒米、飼料用稲(WCS)等を組み合わせた営農が展開されている。

大力谷川下流の大力谷区域は、ほ場整備事業で昭和30年代に面整備が行われているが、区画は20a未満で整形された狭小な農地であるため、農作業の省力化の障害となっている。上流の小力谷区域は、昭和初期の耕地整備により面整備が行われているが、区画は10a未満で整形された狭小で急峻な農地で、耕作放棄地も目立っており、現況区画が小さいこと、用・排水路の不備、狭小な道路が集積を進めるにあたって支障となっている。

区画整理を行うことで農地集積・集約化を進めるための条件を整備し、大型機械での農業の効率化を図る。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
農地中間管理機構関連農地整備事業	広島県三次市三和町大力谷

第2節 地 積

(第2表)

事 業 名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
農地中間管理機構関連農地整備事業		(21.3)				(2.7)	(24.0)	
	三次市三和町	21.4				3.2	24.6	
合 計		(21.3) 21.4				(2.7) 3.2	(24.0) 24.6	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名	庄原	かんがい期	非かんがい期		
観測期間	1979年～2022年	5月～9月	10月～4月	計又は平均	備考
平均気温	(℃)	21.1	6.3	12.5	
降水量	平均 (mm)	917.5	585.8	1,503.3	
	基準年 (mm)				
降水日数	平均 (mm)	55	76	131	
	基準年 (mm)				
根雪期間		- 月 - 日	～ - 月 - 日	- 日間	
無霜期間		- 月 - 日	～ - 月 - 日	- 日間	
最多風向	西北西	最大風速		12.2 m/s	最多風向発生時期 11月～5月
		(風向)		(南南西)	最大風速発生年月日 2012年4月3日

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率
甲田															
観測期間															
S51年～R4年															
最大日雨量															
(mm)	226	R3.8.13	72.4	209	H30.7.6	43.2	193	H18.9.16	26.5	180	H29.7.5	17.9	164	H9.8.5	11.0
最大時間雨量															
(mm)	70	R4.9.1	140.4	69	R1.9.3	122.4	53	H28.9.18	14.9	52	R3.9.4	13.2	50	H23.8.26	10.3
最大4時間雨量															
(mm)	136	R3.8.13	70.7	119	H18.9.16	24.7	117	H28.9.17	21.9	108	H22.9.17	13.0	107	S60.7.6	12.3
最大連続雨量															
(mm)	598	R3.8.12 ～8.22	-	451	H30.7.3 ～7.9	-	412	H22.7.9 ～7.16	-	374	H7.6.30 ～7.7	-	362	S60.6.21 ～6.25	-
最大連続干天日数															
(日)	44	R4.10.10 ～11.22	7.0	40	H15.9.26 ～11.4	5.5	39	S61.1.6 ～2.13	5.2	37	R2.7.30 ～9.4	4.6	35	H18.10.6 ～11.9	4.0

3 海象

該当なし

(第3表-3)

観測所名	年～年	既往最高潮位	さく望平均満潮位	上下弦平均満潮位	平均潮位	上下弦平均干潮位	さく望平均干潮位	既往最低潮位
観測期間		(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)
実測値		()						()

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田・畑						樹園地・その他							受益地標高(m)			
		傾斜区分	1/1000以下	1/1000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計	最高	最低
											8°～10°	10°～12°	12°～15°					
農地中間管理機構 関連農地 整備事業	面積 (ha)			(9.2)	5.4	6.7	(21.3)									402	316	
	比率 (%)			(43)	25	(32)	100											
合計	面積 (ha)			(9.2)	5.4	6.7	(21.3)											
	比率 (%)			(43)	25	(32)	100											

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表								面積(ha)		備 考		
	土 壤 断 面								事 業 名				
	色	腐 植	礫 層	酸化 沈殿物	土 性			泥 炭 層 黒 泥 層 及びグライ層	堆積様式	母材		農地中間管理機構 関連農地整備事業	計
					表 土 一 層	下 層 土 二 層	三 層						
灰褐色土壌(善通寺) G-63	灰褐	なし	なし	-	壤	-	-	なし	水積	非固結 堆積岩	13.1	13.1	
黄色褐色土壌(新野) I-82	黄(黄褐)	なし	なし	-	粘	-	-	なし	洪積世堆積 残積(崩積)	非固結堆積岩、 固結堆積岩、固 結火成岩	(8.2)	(8.2)	
											8.3	8.3	
計											(21.3)	21.4	

該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度			ガリ浸蝕の程度		備考
		0	0～25%	25%～50%	50%	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	
	面積(ha)										
	比率(%)										

2 土地分類

該当なし

(第4表-2-1)

市町村名	級地別 (ha)	農用地造成										計 (ha)	備考	
		※	3°～8°	8°～12°	12°～15°	※	15°～20°	20°～25°	25°～30°	※	30°以上			
計														※は傾斜以外の要因によるもの

該当なし

(第4表-2-2)

市町村名	級地別 (ha)	干 拓				計 (ha)	備考
		一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)		
計							

3 土地利用の状況

(令和7年10月現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地					山 林			原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考	
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					採草放牧地 (ha)
農地中間管理機構関連農地整備事業	三次市三和町	(21.3)										(2.7)	(24.0)	
		21.4										3.2	24.6	
	合計	(21.3)										(2.7)	(24.0)	
		21.4										3.2	24.6	

4 土地所有の状況

(令和7年10月現在) (第4表-4)

事業名	所有別	個人所有	国所有	県所有	市所有	改良区所有	計	備考
	区分							
農地中間管理 機構関連農地 整備事業	面積 (ha)	(21.4) 21.8	(-) 0.1		(2.2) 2.3	0.4	(24.0) 24.6	
	受益者数 (人)	36					36	
	筆数 (筆)	(299) 311	(-) 2		(201) 211	39	(539) 563	
	権利関係 (人)	(47) 40					(47) 40	
	備考 (関係戸数)							
合 計	面積 (ha)	(21.4) 21.8	(-) 0.1		(2.2) 2.3	0.4	(24.0) 24.6	
	受益者数 (人)	36					36	
	筆数 (筆)	(299) 311	(-) 2		(201) 211	39	(539) 563	
	権利関係 (人)	(47) 40					(47) 40	
	備考 (関係戸数)							

第3節 水利状況

1 用水状況

大谷川、支線河川および渓流水を水源としている。

(1) 用水系統

別添資料①参照

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計	水利権		慣行水利権		延べ 取水量 m ³ /s	備 考
		ha以上		～ha		100 ha未満			箇所	ha	箇所	m ³ /s		
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha							
農地中間 管理機構 関連農地 整備事業	貯水池					1	0.8	1	0.8			0.010		
	井堰					3	17.1	3	17.1			0.084		
	自然取入口													
	揚水機													
	その他					1	0.2	1	0.2		1	0.002	渓流水	
合 計					5	18.1	5	18.1		1	0.096			

(イ) 改修を要する施設一覧表

該当なし

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積(ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を 必要とする 理由	備 考
農地中間 管理機構 関連農地 整備事業	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水機							
	その他							
合 計								

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m ³)	不足水量				平均 減産量 (t)		備考
				かんがい期 最大不足水量		かんがい期 総不足水量		作物名	減産量 (t)	
				平均 (m ³ /s)	基準年 (m ³ /s)	平均 (千m ³)	基準年 (千m ³)			
合	計									

(イ) その他の被害状況 該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温(°C)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

(4)ため池決壊の場合の想定被害状況

該当なし

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)					計	備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他		
合計											

2 排水状況

(1) 排水系統

別添資料④参照

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備考	
			500 ha以上		500ha未満～100ha		100 ha未満		箇所	面積ha				
			箇所	面積ha	箇所	面積ha	箇所	面積ha						
農地中間 管理機構 関連農地 整備事業	自然	排水路						5	285.6	5	285.6	16.310	19.571	
		水門												
	機械	排水機												
		水門及び排水機												
		排水路及び排水機												
合計							5	285.6	5	285.6	16.31	19.571		

(イ) 改修を要する施設一覧表

該当なし

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	合計								

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均 減産量		備考	
				湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m ³)	田		畑		その他		作物名	減産量(t)		
								乾	湿	乾	湿	乾	湿				
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
合計			平均														
			基準年														

3 河川状況

(1) 河川状況

該当なし

(第5表-7)

河川名	項目	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m ³ /s)	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備考

(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

(第5表-8)

区分	項目	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
	過去の最大被害額					
	平均被害額					

第4節 道路概況

1 道路概況

本地区は、市道大力谷線沿いに面している区域である。大力工区で大力谷線に接続されている道路は、集落の生活道や農業用道路として利用されている。小力工区で大力谷線に接続されている道路は、農業用道路として利用されている。大力谷線を含め市道については、十分な幅員が確保されている。農道においては、未改修で幅員が狭く高低差も大きいため、農業機械の搬入搬出や農作物の運搬に多大な時間と労力を要している。

3 主要家畜頭数

(第7表-3)

市町村名	主要家畜						備考
	乳用牛		肉用牛		豚		
	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	
三次市	700	19	X	82	12,164	3	
100戸当り 数量(台、頭)							
利用戸数 割合(%)							

資料:農業センサス(R2)

4 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名		三次市				計	平均	作付率 (%)	備考
総耕地面積(ha)		3,768				3,768			
総本地面積(ha)		-							
作物名	区分	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)		
	田	表作	3,050	508					81
裏作									
小計									
畑	春夏作								
	秋冬作								
	小計								
樹園地									
	小計								
計		-				-			
市町村別 延べ作付率(%)		-				-			

資料:広島農林水産統計データ集(R2)

5 農業の動向

(第7表-5)

区分	項目	農業経営体		土地		主要作物			主要家畜			地域 指定等	備考
		B	A	B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	農業経営体数	83	61	耕地	98	97	米	104	95	乳用牛	93	48	A: 令和2年 B: 平成27年 C: 平成22年
	個人経営体数	82	60	田	98	97	麦類	-	293	肉用牛	-	-	
	団体経営体(法人)数	122	152	普通畑	98	96	豆類	113	108	豚	347	371	
	団体経営体(非法人)数	120	130	樹園地	-	-	野菜	90	54	採卵鶏	86	98	
変化の理由	農業を取り巻く社会情勢の変化による。												

資料:農業センサス、広島農林水産統計データ集・統計年報

第6節 地域環境の概要

三次市は、比較的大きな河川が合流する盆地をなし、その周囲は南に緩やかで、北に急峻な山間地域へと連接する地形を有している。特に河川を中心とした地形は、豊かな水辺空間となり、多様な動植物の生息・生育地となっている。このような自然条件において、農業生産活動や生活行動により二次的自然環境が維持・保全され、多様な野生生物との共生が農業や生活をとおして行われている。しかし近年身近な自然に多くの人たちが興味をもち、ハイキングなど自然探勝を目的とした入り込み客が増えつつある。このことによってゴミの問題や人による間接的な自然への影響が懸念されるとともに、盗掘などの被害が徐々に始まっている。そのほか、生活水準の向上にともない土地の開発や生活公害などにより、動植物の生息・生育域の減少が懸念されている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要旨

本地区は主に、大力工区が法人経営、小力工区は個別経営されている。本地区全域を法人経営へと移行するため、生産基盤である耕地に関して区画形質の改善、用排水路、道路の整備、耕地の集団化等を総合的に実施し、農業機械の効率的な運行と合理的な水管理を行ないうる生産性の高い条件に整備することを目的とする。

また、農業従事者の高齢化による地域農業衰退の危機を解消するため、事業を契機に規模を拡大する農業生産組織への農地集積、広島県が掲げる高収益作物の取り組みにより、地域農業の再編と農業経営の安定を図る。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 工区 利用区分	農地中間管理機構関連農地整備事業							小計	水田	輪換耕地	普通畑	山林 原野等	その他			小計	計	備考
	水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	山林 原野等 (ha)	その他													
事業目的																		
区画整理		(19.3) 19.7			(4.7) 4.9			(24.0) 24.6									(24.0) 24.6	
(暗渠排水)		(7.4)					(3.4)										(3.4)	
計		(19.3) 19.7			(4.7) 4.9		(24.0) 24.6										(24.0) 24.6	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

現在、農業に取り組む若い担い手の減少や営農者の高齢化が急速に進行しているため、本地区を含めた地域農業の大きな課題になっている。この課題を解消するために、集落法人の規模拡大・農地集積の進行・共同購入など集落法人間の連携を加速させ、区画整備などの基盤整備を併せることで、営農効率の向上・高収益作物への取り組み拡大・担い手の創出を推進する。

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分 区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農地中間管理機構関連農地整備事業	現況	(21.3) 21.4						(21.3) 21.4			(2.7) 3.2	(24.0) 24.6	
	計画	(19.3) 19.7						(19.3) 19.7			(4.7) 4.9	(24.0) 24.6	
計	現況	(21.3) 21.4						(21.3) 21.4			(2.7) 3.2	(24.0) 24.6	
	計画	(19.3) 19.7						(19.3) 19.7			(4.7) 4.9	(24.0) 24.6	

3 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用 区分	1年目												2年目												備考	
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
農地中間管理機構 関連農地整備事業	現況	水稻・酒米	田				○	△	—	—	×							○	△	—	—	×				○:播種			
		飼料用稲(WCS)	田					○	△	—	—	×							○	△	—	—	×				△:定植		
	計画	酒米	田				○	△	—	—	×								○	△	—	—	×				×:収穫		
		飼料用稲	田					○	△	—	—	×							○	△	—	—	×						
		ハウレンソウ	田	—						(周年栽培)						—						(周年栽培)							
					3年目												4年目												
	現況	水稻・酒米	田				○	△	—	—	×								○	△	—	—	×						
		飼料用稲(WCS)	田					○	△	—	—	×							○	△	—	—	×						
	計画	酒米	田				○	△	—	—	×								○	△	—	—	×						
		飼料用稲	田					○	△	—	—	×							○	△	—	—	×						
ハウレンソウ		田	—						(周年栽培)						—						(周年栽培)								

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量(kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳(t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増加	
	土地利用区分																
農地中間管理機構関連農地整備事業	田	表作	水稻	7.7	0.0	△ 7.7	43	0	515	515	0	39.7	0.0	△ 39.7	△ 39.7	-	
			酒米	2.5	3.5	1.0	14	24	538	538	0	13.5	18.8	5.3	5.4	-	
			飼料用稲(WCS)	0.9	5.6	4.7	5	39	3,210	3,210	0	28.9	179.8	150.9	150.9	-	
			麦	0.4	0.0	△ 0.4	2	0	211	211	0	0.8	0.0	△ 0.8	△ 0.8	-	
			ハウレンソウ(ハウス)	0.0	0.9	0.9	0	6	1,146	1,146	0	0.0	61.9	61.9	61.9		6回採り
			ハウレンソウ(露地)	0.0	4.5	4.5	0	31	1,146	1,146	0	0.0	103.1	103.1	103.1		2回採り
			自己保全・自家消費	6.6	0.0	△ 6.6	37	0									
	畑	表作															
	計		18.1	14.5	△ 3.6	100	100										

6 級地別土地利用区分

該当なし

(第9表-5)

土地利用区分	区分 級地名	農用地造成(ha)					干拓(ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
	その他											
	計											

7 土地配分計画

該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画(ha)							備考
		田	転換耕地	畑			計		
				普通畑	牧草畑	樹園地			
増反		()	()	()	()	()	()	()	
入植		()	()	()	()	()	()	()	

第3節 用水計画

1 計画基準年

近傍甲田観測所の資料(昭和51年～令和4年)における、かんがい期間中の有効雨量と連続干天日数の1/10年確率を求め、昭和57年を計画基準年とする。

2 計画かんがい方式

暗渠管(塩化ビニル管)、開水路(KF・DF水路)にて取水かんがいを行う。かんがい期間は4月15日～9月15日の154日間とし、代掻き期は4月15日～4月24日の10日間とする。

3 計画用水系統

別添資料②参照

4 計画用水量

(1)かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積(ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m ³ /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考			
		農地中間管理 機構関連 農地整備 事業	計	普通期 計画 単 位 平 均 水 量 (mm/日)	代かき期 計画 単 位 水 量 (mm)	面積 (ha)	深 平 均 日 か ん が い 水 量 (mm/日)	平 均 間 断 日 (日)	面積 (ha)	深 平 均 日 か ん が い 水 量 (mm/日)	平 均 間 断 日 (日)	面積 (ha)	平 均 計 画 単 位 水 量 (mm/日)	面積 (ha)	平均			最大					
																			事業名		面積	面積	面積
A	農業用水	12.2	12.2	21	140	6.5	21.3	5	5.7					0.012	15	0.016	0.036						
B	農業用水	0.5	0.5	21	140	0.5																	
C	農業用水	2.0	2.0	21	140	2.0																	
D	農業用水	0.2	0.2	21	140	0.2																	
計		14.9	14.9			9.2			5.7								0.016	0.036					

(2) 営農飲雑用水

該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積(ha)			日当たり給水量		補給回数(回)	関係戸数(戸)	備考
		事業名			単位給水量 (ℓ/日)	最大給水量 (ℓ/日)			
				計					

5 水源計画

(1) 水利用計画

別添資料③参照

(第10表-2)

区分	項目	消費 水量	有効 雨量	純用 水量	粗用 水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源 工種	備考
						水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量		
							e (千m3)	f (千m3)	g=c-f (千m3)	h=d-e (千m3)		(千m3)		
		a (千m3)	b (千m3)	c=a-b (千m3)	d= c/(1-a) (千m3)									損失率 :a
(事業名)														15
	計													

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

貯水池名	項目	流域面積 (km2)		かんがい面積(ha)		純貯水量 (千m3)	利用貯水量 (千m3)	利用回数 (回)	最大取水量 (m3/s)	備考
		直接	間接	事業名						
				農地中間管理機構関連農地整備事業	計					
畦無ため池		0.06		2.5	2.5	4.8	4.8	-	0.008	
	計	0.06		2.5	2.5	4.8	4.8		0.008	

(イ) 井堰及び自然取水口

(第10表-4)

項目	河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積(ha)		取水量(m ³ /s)		渇水量 (m ³ /s)	備考
			事業名		最大	平均		
			農地中間管理機構関連農地整備事業	計				
取水施設名								
亀丸頭首工、浜田頭首工	大力谷川	-	12.2	12.2	0.027	0.024	-	
丸瀬ため池頭首工	大力谷川支線	-	5.9	5.9	0.017	0.016	-	
-	溪流	-	0.5	0.5	0.002	0.002	-	
計			18.6	18.6	0.046	0.042		

(ウ) 揚水機

該当なし

(第10表-5)

項目	水源名	かんがい面積(ha)		所要水量(m ³ /s)		揚水機				備考
		事業名		最大	平均	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	
			計							
名称										

(エ) 用水路 (農用排施設整備も含む)

(第10表-6)

項目	かんがい面積(ha)		最大通水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	備考
	事業名					
	農地中間管理機構関連農地整備事業	計				
支線用水路	14.9	14.9	0.006~0.060	4.98	角フリューム(KF200~300) DFフリューム(800×600) 塩化ビニルパイプ(φ250~400)	
計	14.9	14.9	0.006~0.124	4.98		

(オ)その他の水源施設

該当なし

(3)水温水質

水温、水質とも作物生育上支障なし

第4節 排水計画

1 計画基準雨量

1/10年確率 (時間雨量) 49.7 mm/hr (4時間雨量) 103.3 mm/4hr

1/2年確率 (時間雨量) 33.7 mm/hr (4時間雨量) 67.9 mm/4hr

2 計画排水方式

角フリュームまたはDFフリュームにより大谷川へ自然排水する。

3 計画排水系統

別添資料⑤参照

4 計画排水量

(第11表-1)

排水系統名	項目		受益面積(ha)		流域面積(km ²)	基準雨量(mm)	降雨による直接単位流出量(m ³ /s/km ²)		基底流出量(m ³ /s/km ²)		全排水量(m ³ /s)			単位排水量(m ³ /s/km ²)		備考
	事業名		計	山地			平地	山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	
	農地中間管理機構関連農地整備事業	計			自然排水	機械排水										
			計	山地			平地									
	(5.7)	(5.7)									(0.331)			(5.517)		
A	6.3	6.3	0.676	0.003	49.7	6.903	5.522			4.667	0.364		6.904	5.524		
B	4.2	4.2	0.285	0.024	49.7	3.587	2.869			1.022	0.189		3.586	2.864		
C	3.8	3.8	0.128	0.052	49.7	3.587	2.869			0.459	0.258		3.586	2.867		
D	9.5	9.5	0.142	0.073	49.7	3.587	2.869			0.510	0.482		3.592	2.869		
E	0.8	0.8	1.114	0.119	49.7	6.903	5.522			7.690	0.702		6.903	5.528		
	(24.0)	(24.0)									(1.962)					
計	24.6	24.6	2.345	0.271						14.348	1.995					

5 排水対策

(1)排水水門

該当なし

(第11表-2)

名称	流域面積(km ²)	受益面積(ha)			計画排水量		名称	排水本川		備考
		事業名			排水量(m ³ /s)	地区内湛水深(m)		計画洪水量(m ³ /s)	計画洪水位(m)	
		計	山地	平地						
計										

(2) 排水機

該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)		計画排水量		排水機				備考
		事業名		排水量 (m ³ /s)	地区内 湛水深(m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
			計							
計										

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)		計画排水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		事業名					名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		農地中間管理機構関連農地整備事業	計							
支線排水路	~0.456	~1.89	~1.89	~1.646	3.25	KF200~KF500 DF600×600~1000×600	大力谷川			
計					3.25					

(4) その他

該当なし

6 たん水検討

該当なし

第5節 道路計画

1 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

路線名	項目	幅(有効)×延長 (m) (km)	構造	既設道路との関係	備考
支線道路		4.0～3.0(3.0～2.5)×1.54	AS	市道・農道に接続	
		4.0～3.0(3.0～2.5)×1.99	砂利	市道・農道に接続	
		4.0～3.0(3.0～2.5)×0.72	AS・砂利	既設利用	
	計	4.25			

(2) 索道 該当なし

(第12表-2)

路線名	項目	能力(t/hr)	延長(m)	接続道路名	備考

2 路線配置図 計画平面図参照

第6節 農用地造成計画

1 農用地造成計画 該当なし

(1) 農用地造成計画 該当なし

(第13表-1)

土地利用区分	項目	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備考

(2) 末端道水路配置図 該当なし

2 土壤改良 該当なし

(第13表-2)

区分	項目	面積 (ha)	pH		置換酸度 (Y1)	りん酸吸収 係 数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備考
			H ₂ O	KCl			石灰 (t)	りん酸質 資 材(t)	有機質 資材(t)	

第7節 洪水調節計画

1 計画基準雨量 該当なし

2 計画洪水量及び調節量 該当なし

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時調節量 (m ³ /s)	ピーク時調節後流量 (m ³ /s)	調節前後最大流量 (m ³ /s)	調節前後最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)

3 貯水池 該当なし

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積(km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量(千m ³)			計画調節流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

4 洪水調節検討 該当なし

- (1) 河川改修計画との関係
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響
- (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

5 管理計画 該当なし

- (1) 管理機構
- (2) ダム管理操作上の各種基準
- (3) 洪水調節要領

第8節 干拓計画 該当なし

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

1 区画整備

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
100×50	0.50	(13.5) 13.9	(69.9) 70.6	1m以上	
100×20	0.20	5.0	(26.0) 25.3	1m以上	
100×15	0.15	0.8	4.1	1m以上	
端田区					
計		(19.3) 19.7			

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考
(19.3) 19.7	肥沃度の保持が困難	15	(28,950) 29550	

(3) 末端道水路配置図

計画平面図参照

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項目	面積(ha)		土壌統(区)名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ($\frac{\%}{s}$ /ha)	計画後の 地下水位(m)	集水渠出口 以下の 排水方式	備考
	事業名	計						
区分	農地中間管理機構関連農地整備事業	計						
通常暗渠	7.4	7.4		40	4.6	60	自然排水	
計		7.4						

(2) 心土破砕

該当なし

(第16表-3-2)

項目	面積(ha)		土壌統(区)名	土壌硬度	備考
	事業名	計			
区分		計			
計					

3 客土

該当なし

(第16表-4)

区分	項目	面積(ha)		土壌統(区)名	減水深(mm/日)		作土の厚さ(cm)		10a当たり客土量(m3)	土壌の性質		備考
		事業名			現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地(%)	採土地(客土材料)(%)	
			計									

4 農地保全

(1) 防災林

該当なし

(第16表-5-1)

区分	項目	最大風速(m/s)	幅(m)	間隔(m)	備考

(2) 排水工

該当なし

(第16表-5-2)

区分	項目	基準雨量(mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
					単位排出量(m3/s/ha)	全排水量(m3/s)	

(3) 侵食(崩壊)防止工

該当なし

(第16表-5-3)

区分	項目	位置	支配面積(ha)	機能	備考

第10節 老朽ため池改修計画

- | | |
|------------|------|
| 1 洪水吐改修計画 | 該当なし |
| (1) 計画基準雨量 | |
| (2) 計画洪水量 | |
| 2 堤体補強計画 | 該当なし |
| 3 取水施設改修計画 | 該当なし |

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1 貯水池

該当なし

(第17表-1)

名称	形式	流域面積(km2)		位置 堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m3)	基盤地番 地質	貯水量(千m3)		備考
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
洪水吐	型式	洪水量 (m3/s)		取水施設	型式	取水量 (m3/s)	放流施設	型式	放流量 (m3/s)	

2 頭首工

該当なし

(第17表-2)

名称 型式	堤高 (m)	堤長(m)			取水位 (m)	取水量 (m3/s)	付帯施設	備考
		固定部	可動部	計				

3 揚水機

該当なし

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m3/s)	揚程(m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ()	台数 (台)	

4 用水路 (農用排施設整備も含む)

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積(ha)		通水量 (m3/s)	延長(km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業		開きよ	トンネル その他	計				
支線用水路	14.9		0.006~0.060	4.980		4.980	KF200~300 DF800×600 塩化ビニルパイプ(φ250~400)	1/100 ~ 1/300	角フリューム DFフリューム 塩化ビニルパイプ	
計	14.9			4.980		4.980				

第2節 排水施設

1 排水水門

該当なし

(第18表-1)

名称	項目	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水路 (m ³ /s)	備考
計								

2 排水機

該当なし

(第18表-2)

名称	項目	位置	排水量 (m ³ /s)	揚程(m)		排水機			原動機		備考
				全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ()	
計											

3 排水路

(第18表-3)

水路名	項目	受益面積(ha)		排水量 (m ³ /s)	延長(km)			構造	勾配	主要構造物	備考
		事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業		開きよ	トンネル その他	計				
支線排水路		~1.89		~1.646	3.25			KF200~KF500 DF600×600~1000×600	1/100~ 1/5000	角フリューム DFフリューム	
計					3.25						

4 その他

該当なし

第3節 道路及び索道

1 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

区分	項目 路線名	幅(有効)(m) ×延長(km)	構造	付帯構造物			最急 こう配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
支線道路	9路線	4.0~3.0(3.0~2.5)×3.53	AS・砂利							
既設道路	3路線	4.0~3.0(3.0~2.5)×0.72	AS・砂利							
計		4.25								

(2) 道路主要構造物

該当なし

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

2 索道

該当なし

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原 動 機		備考
				型 式	能 力 ()	

第4節 農用地造成

1 農用地造成

(1) 抜根

該当なし

(第20表-1)

区分	項目	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考

(2) 除 礫

該当なし

(第20表-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考

(3) 開 墾 作 業

該当なし

(第20表-3)

区分	項目		面積 (ha)	工法	備考
地目	造成工法				
	計				

(4) 地目変換

該当なし

(第20表-4)

区分	項目	面積(ha)	工法	備考
	計			

(5) 末端用水路等

該当なし

(第20表-5)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(6) 末端排水路等

該当なし

(第20表-6)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2 土壤改良

(第20表-7)

区分	項目	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
	有機質資材散布	5.4			21,600	4t/10a
	計	5.4			21,600	

第5節 洪水調節施設

1 貯水池 該当なし

2 頭首工及び導水施設

(1) 頭首工 該当なし

(第21表-2)

名称	位置		延長(m)			計画洪水位 (m)	付帯施設	備考
			固定部	可動部	計			
型式	集水面積 (km ²)	提高 (m)						

(2) 導水路 該当なし

(第21表-3)

水路名	項目	通水量 (m ³ /s)	延長(m)			構造	勾配	備考
			トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設

1 堤防 該当なし

(第22表-1)

名称	項目	型式	延長 (m)	構造			原地盤標高(m)		備考
				堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	

2 潮止め

該当なし

(第22表-2)

名称	項目	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3 付属施設

該当なし

4 埋立

該当なし

(第22表-3)

区分	項目	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m3)	施工方法	備考

第7節 農用地整備施設

1 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量(m3)	面積(ha)	土量(m3)	
大力谷	(19.3) 19.7	50a	(292,720) 298,780	(19.3) 19.7	(28950) 29,550	

(2) 末端用水路等

該当なし

(第23表-2)

区分	項目	数量	規模	構造	備考

(3) 末端排水路等

該当なし

(第23表-3)

区分	項目	数量	規模	構造	備考

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水 該当なし

(第23表-4-1)

区分	項目	面積 (ha)		集水渠				吸水渠					集水渠出口以下の排水施設			備考	
		事業名		勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造		数量 (m/ha)
		農地中間管理機構 関連農地整備事業	計														
	輪換田	7.4	7.4	1/500	塩ビ管	φ 65	45	1/500	合成樹脂管	φ 60	0.6	10	681	排水路・用排 兼用水路	KF200~500 DF600×600~ DF1000×600		
	計		7.4														

(2) 心土破砕 該当なし

(第23表-4-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

3 客土 該当なし

(第23表-5)

区分	項目	面積(ha)		客入土量 (m3)	土取場土量 (m3)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
		事業名						
				計				
	計							

4 除礫 該当なし

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

5 農地保全

(1) 防災林 該当なし

(第23表-7)

区分	項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考

(2) 排水路 該当なし

(第23表-8)

区分	項目	延長 (m)	流量 (m ³ /s)	構造	備考

(3) 侵食防止工 該当なし

(第23表-9)

名称	項目	構造	数量	備考

第8節 老朽ため池改修施設

1 貯水池 該当なし

(第24表)

名称					位置			備考
堤体	型式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m ³ /s)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考
	型式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	備考
洪水吐								

2 堤体補強施設

(1) のり面保護施設 該当なし

(2) 漏水防止工 該当なし

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

地区名	着手予定年度	完了予定年度	備考
大力谷	令和6年度	令和12年度	

第8章 環境との調和への配慮

本地区区域内、隣接地及び河川内の環境調査で確認された希少動植物への配慮について、保護すべき生物としてモートンイントンボ、ニホンアカガエル、アカハライモリ、ミズマツバ、シャジクモ、イチョウウキゴケの28種が該当する。保護対策案として、モートンイントンボに対しては、維持用水などで現状の湿地を維持したうえで、生息域を確保する。また、ニホンアカガエルやアカハライモリ等に対しては、浅い水域や湿地環境の維持が必要となるため、モートンイントンボで確保した湿地空間を利用する。河川内に生息するオオサンショウウオ、ドジョウ、ゲンジボタルについては、施工による土砂の流出を防ぐため、汚濁防止施設の設置で対応する。その他動植物については、施工前移動・移植など適切な対応を行なう。また、駆除対象種として、ウシガエルが確認されており、直接的・間接的に施工に影響するものではないが、逃避する可能性があるため、施工中確認したい捕獲駆除とする。

工事着手後に保護すべき生物が確認された場合は、対応・工法について検討を行ない適切に対処する。工事中は、河川汚濁防止施設を設置し、工事区域からの濁水放流に配慮する。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

原則として、各人の従前地の土地が最も密集した位置を中心に集団化を図り、本地区の換地設計基準、土地評価基準に基づいて換地配分する。

第2節 換地区の設定

1 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
大力谷	広島県三次市三和町大力谷	(24.0) 24.6

2 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

1 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
大力谷	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、国土調査法による地籍調査に基づく登記が完了している土地にあつては、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とし、これ以外の土地にあつては、広島県の行う実測による地積とする。

2 用途別予定地積

(単位:ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地区域外に換地する土地										非農用地区域に換地する土地							機能交換に係る土地				一般 国 公 用 地	総 合 計						
		田	畑	山林・ 原野	その他	通常事業施工地域に 含める土地 (令第1条の9括弧書き)			本事業によって 生ずる土地改良 施設用地			農創 用地 設	合計	特定用途用地			創設非農用地				合計	国			県	市	合計			
						土地 改良 施設	その他	小計	計	改良 区	市			計	宅 地	その他	計	異 種 目 換 地	農 業 経 営 合 理 化 施 設 用 地	生 活 上 ・ 経 営 上 必 要 な 施 設 用 地								公 用 ・ 公 共 用 施 設 用 地	宅 地 等	計
大力谷	従前の土地	(21.3) 21.4			0.1	0.4				(21.8) 21.9			(21.8) 21.9	(-) 0.3	(-) 0.3						(-) 0.3	(-) 0.1	(2.2) 2.3	(2.2) 2.4	(24.0) 24.6					
	換地	(19.3) 19.7				0.4				(19.7) 20.1	(1.0) 1.8	(1.0) 1.8	(20.7) 21.9	(-) 0.3	(-) 0.3						(-) 0.3	(-) 0.1	(3.3) 2.3	(3.3) 2.4	(24.0) 24.6					
	従前の土地																													
	換地																													
全体	従前の土地	(21.3) 21.4			0.1	0.4				(21.8) 21.9			(21.8) 21.9	(-) 0.3	(-) 0.3						(-) 0.3	(-) 0.1	(2.2) 2.3	(2.2) 2.4	(24.0) 24.6					
	換地	(19.3) 19.7				0.4				(19.7) 20.1	(1.0) 1.8	(1.0) 1.8	(20.7) 21.9	(-) 0.3	(-) 0.3						(-) 0.3	(-) 0.1	(3.3) 2.3	(3.3) 2.4	(24.0) 24.6					

3 農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区名	区分	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
			位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
大力谷		地目別集団化 (水稻・普通畑)	母地集団化方式	おおむね2団地	(固定畦畔) ア.換地は、原則として標準区画を単位に交付するが、換地すべき面積が標準区画に交付して余る場合又は標準区画に不足する場合は標準区画を分割して交付する。 (移動畦畔) ア. 畦畔は、配分面積に応じて移動して定める。

4 非農用地の換地方法

(第25表-5)

換地区名	区分	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (m2)	換地の手法	換地取得予定者	その他
大力谷			別添資料⑥参照				

第4節 土地の評価及び清算の方法

1 評価の方法

項目別配点評価方式 本地区で決定した評価基準に基づき評価委員が評価する。

2 清算の方法

比例地積清算方式 事業による増価額を従前の土地の交付対象面積に比例して配分する。

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

換地区名	区分	一時利用地の指定 予定年度	換地計画の決定 予定年度	換地処分 予定年度	備考
大力谷		令和7～令和11年度	令和12年度	令和12年度	地区面積(24.0)24.6ha

第6節 換地処分の時期に関する特則

該当なし。

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区分		事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業	(百万円)	備考
	区画整理			485	R5年度単価
	暗渠排水			17	
	土壌改良			10	
	小計			512	
	農業用排水施設整備事業(用水路工)			224	
	測量試験費			117	
	用地買収補償費			29	
	換地・確定測量費			37	
	事務費(工事雑費含む)			46	
	合計			965	
関連事業(参考)					

第11章 効用

(第27表)

事業名	項目		年総効果額 (千円)	年増加農業所得額 (千円)	備考
	区分				
農地中間管理機構関連農地整備事業		作物生産効果	4,483	40,183	
		営農経費節減効果	54,577	54,577	
		維持管理費節減効果	△516	△516	
		国産農産物安定供給効果	3,448	-	
		計	61,992	94,244	

第12章 関係する事業

該当なし

(第28表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容

第13章 現況・計画図面

- 1 現形図
- 2 計画平面図及び土地利用計画図
- 3 主要構造図